

の南九州

第 9 号
平成22年2月5日発行

議会だより

MINAMIKYUSHU CITY



童心に返って大だこを揚げる大人たち（知覧平和公園）

常任委員会の構成決まる	2
学校施設整備など4億8000万円補正 ...	4
いっぱん質問・8人登壇	8
給食センター特別委員会設置	12
活かせ提言 -閉会中の所管事務調査-	14
市民の声	16

新たに議長・副議長を選出

常任委員会の構成決まる

南九州市議会も2年が経過し、12月22日、新たに議長・副議長の選挙及び議会運営委員・常任委員の選任が行われました。



森田 隆志
副議長



田之脇 厚
議長

議長あいさつ

この度、多くの議員の支持を得まして、南九州市議会の二代目議長に就任いたしました。私自身にとりまして、限らない光栄と存じますとともに、その責任の重さをひしひしと感じております。

もとより浅学非才ではあります。議会運営に当たっては議員各位のご協力、ご支援をいただきながら全身全霊を傾け、その職責を全うする覚悟で臨んでまいります。

議会は、「言論の府」といわれるように議員活動の基本は言論であり、問題はすべて言論によって決定されるのが建前です。議場において徹底した議論を展開し、本市の進むべき道筋を定めてまいりたいと考えております。市民の皆様方

も、ぜひ議場へ足を運んでいただき、各議員の熱い思いを感じ取っていただきたいと思います。

さて、本市は、合併して2年余りが経過しましたが、まだまだ旧3町の一体化という面では進んでいないのではと感じております。喫緊の課題であります。市民の融和と均衡ある発展を図ることに議会としても力を入れてまいりますので、市民の皆様からの率直なご意見やご要望などを、ぜひ議員の耳にお届けいただきたいと思います。

最後に、これからもこの「議会だより」の一層のご愛読をお願いいたしますとともに、市民の皆様方のご健勝とご多幸を御祈念申し上げます。ごあいさついたします。



議会運営委員会

委員長
副委員長
委員

森田 隆志
内匠 秋夫
今吉 賢二
菊永 忠行
永吉 義輝
塗木 弘幸
大蘭 秀己

議会運営委員会は、議会の運営、議会の会議規則、委員会条例などに関する事項及び議長の諮問に関する事項について調査、審査を行います。

今吉委員

塗木委員

内匠副委員長

永吉委員

森田委員長

大蘭委員

菊永委員

総務常任委員会

委員長
副委員長
委員

内匠 永吉 蔵元 松久保 加治佐 峯苦 山西本
秋夫 義一 慎毅 正生 民範 勝仁 良満 森

総務常任委員会は、議会議務局・総務部・会計課・選挙管理委員会及び監査委員の所管に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項について調査、審査を行います。



蔵元委員 峯苦委員 松久保委員 西委員 永吉副委員長 内匠委員長 山本委員 加治佐委員



竹迫委員 森田委員 塗木副委員長 満留委員 今吉委員長 下窪委員 山下委員 柚木委員

文教厚生常任委員会

委員長
副委員長
委員

今吉 賢二 塗木 弘幸 満留 秀昭 柚木 茂樹 山下 つきみ 森田 隆志 竹下 毅 迫窪 一

文教厚生常任委員会は、市民福祉部及び教育委員会の所管に関する事項について調査、審査を行います。



東委員 田畑委員 大園副委員長 深町委員 菊永委員長 田之脇委員 浜田委員

産業建設常任委員会

委員長
副委員長
委員

菊永 忠行 大園 秀己 田畑 浩一郎 蘭田 茂誠 浜田 幸子 深町 厚 東之脇 兼喜

産業建設常任委員会は、農林水産部・建設部及び農業委員会事務局の所管に関する事項について調査、審査を行います。

など 補正

12月定例会

一般会計

補正額

4億8,780万1千円

予算総額

214億5,353万5千円

補正予算の主なもの

問 当初予算に計上せず
なぜ補正対応したのか。

答 国が21年度中に耐震
補強とともに執行する大
規模改造について、3分
の1の補助率を2分の1
に^{かき}崇^{たか}上げすることから計
上した。

老朽化が著しい川辺小
学校東側校舎の地震補
強・大規模改造工事によ
り改善を図る。

学校施設整備事業費

3億8718万2千円

12月定例会は、11月30日から12月22日までの23日間の会期で開催されました。
補正予算、条例改正など議案20件、同意3件などが審議の結果、可決・同意され、陳情1
件については一部採択、また、意見書1件を採択し関係大臣に提出しました。



改修予定の川辺小東側校舎

安心安全な学校づくり 学校施設整備事業費

全国瞬時警報システム
(J・ALER T)の導入

災害対策費

2182万8千円

通信衛星を使って、住民に緊急情報を瞬時に伝達し、早期の避難や被害の最小化に役立てる全国瞬時警報システムの導入及び防災行政無線統合化に要する経費である。

問 緊急情報が伝達される所要時間と地震の場合の伝達される震度の程度

度、情報伝達の流れはどのようになるか。

答 所要時間は消防庁が情報を配信してから2〜3秒で震度の程度は4以上である。気象庁から緊急の情報を受けた消防庁は、衛星を利用して本市の防災行政無線を自動起動させ、市民に伝達する。



デジタル対応の防災行政無線

文化財の保護



かやぶき屋根のふき替え

伝建地区公開施設等
管理費

193万5千円

旧高城家住宅のかやぶき屋根の腐食部分を補修する委託料である。

※伝建地区とは？

知覧町麓庭園（通称武家屋敷）一帯を含む18・6ヘクタールの区域を伝統的建造物群及び地割り

がよく旧態を保持している地区として、昭和56年に国が「重要伝統的建造物群保存地区」に選定した区域です。

自治会及び
市内経済活性化

移住定住促進
対策事業費

1750万円

若者定住・市外からの移住を促進し、自治会活動振興に資するため、住宅取得を行う者に対して補助するものである。

問 地域ごとの申請件数の実績はどうか。

答 11月現在、類娃10件、知覧18件、川辺24件の52件となっている。



その他の主な補正

衛生費

○各種がん等検診費

292万9千円

子宮がん・乳がん検診者数の増が見込まれるため検診委託料の増額を行うものである。

民生費

○ひとり親家庭医療費助成事業費

350万円

医療費が増加したことにより、助成する額の不足分を増額するものである。

商工費

○夢・風の里アグリランド管理運営費

378万円

風力発電施設ブレード（羽根）の塗装の剥離、損傷を保護テープにより補修するものである。

問 医療費の増加した原因は何か。
答 助成対象世帯の見込みが当初914世帯から27世帯増加したことによる。

○市立保育所運営費

292万6千円



アグリランドえいの風力発電

農林水産業費

○農地等利用調整対策事業費

300万円

耕作放棄地解消のため認定農業者などへ利用権を設定した場合、土地の貸し主及び借り主に対し助成するものである。

○茶園新・改植事業費

180万円

新植及び改植に伴う苗木購入に対する補助で申



屋根の老朽化が著しい知覧の里

川辺地域3保育所の入所児童増に伴う職員の増加により不足する賃金、需用費などを補正するものである。

請面積が増えたことにより10ヘクタール分の増額をするものである。

○農村集落活性化対策事業費

239万円

「さつまいまもとお茶の館知覧の里」は、建築後16年が経過し、屋根の劣化が激しいことから、屋根瓦の塗装工事を行う。

委員会から

本施設は武家屋敷の入口に位置し、内容などの充実により観光客の施設利用増が見込めることから問題点などの抜本的な見直しを行い、有効活用を図るべきである。

特別会計の中から

介護保険事業

○居宅介護サービス事業費

7400万円

居宅サービスの利用件数の増加に伴い不足分を補正するものである。

居宅介護サービスの受給者などの対比

	受給者数	受給件数	1件あたりの給付費(円)
H20.4月～H20.10月	10,273	26,104	46,861
H21.4月～H21.10月	10,411	26,521	51,255

※表の数字は要支援1～要介護5までの認定者の合計で算出してあります。

専決処分

新型インフルエンザワクチン接種費用軽減事業費

7170万4千円

新型インフルエンザワクチン接種に伴う、接種者の費用軽減措置を計上したものである。

問 優先接種順位による対象者数と、うち非課税世帯者数は何人か。

答 優先接種対象者は2万1386人で、うち非課税世帯者数は7963人である。なお、接種予定者は、対象者の8割を見込んでいる。

条例の改正

人事案件

◆監査委員◆

地域活性化住宅

家賃助成の条件を

小学生以下から高校生以下へ

地域活性化住宅への若

年層の定住促進及び地域
活性化や子育て支援を図
るため、家賃3万円の対
象世帯について、同居す
る子を小学生以下から高
校生以下に改正するもの
です。
この条例は、平成22年
4月1日から施行されま
す。

地域活性化住宅への若

陳情

勝目地区新保育施設に関する陳情

提出者：南九州市川辺町下山田6005
勝目幼稚園長 代表責任者 大山 邦博
南九州市川辺町上山田1955
勝目小学校校区公民館長 桑畑 泰正

趣旨

- ①地域のすべての子が平等で良質な教育・保育の環境に恵まれるよう、関係者は努力すること。
- ②名称は「勝目こども園」が望ましい。
- ③市の「保育所民営化計画」を明らかにすること。
 - ①については採択
 - ②及び③については不採択

意見書

茶業振興に関する意見書

提出者：南九州市議会

- ①茶生産者価格の低迷に対処し、茶の需給動向に即応した茶業の安定的かつ持続的な発展を図るための「茶業振興法」（仮称）を制定すること。
- ②産地における、茶園や製茶工場などの老朽化に伴う茶園の改植や基盤整備・施設整備などの更なる整備強化対策を行うこと。
- ③緑茶の有する健康機能の一層の明確化や新商品開発など需要開拓の取り組みに対する需要拡大策を強化することなどを要望する。

提出先：内閣総理大臣ほか

◆教育委員会委員◆

● 永崎 高尚 氏

任期 21年12月1日から
24年1月7日まで
知覧町 郡

● 小野 義記 氏

任期 22年1月8日から
26年1月7日まで
川辺町 野間



● 蔵元 慎一 氏

任期 21年12月22日から
23年12月22日まで
知覧町 郡

市道の認定

川辺 永田中福良住宅団地線

川辺 平山六丁線



今回の2路線認定により、本市の市道は、1580路線、総延長は12

2万6706メートルになります。

市政に問う!

8人が
登壇

いっぱい質問



柚木 茂樹 議員

**保健看護学校跡地の
利活用は**
市長／県に活用策を要望している

柚木 保健看護学校は、市長が以前、県の「保健看護学校あり方検討委員会」の委員のとき、廃校を決定している。廃校に際し利活用の条件を付けるべきだったのではないかと。また、本市自ら、利

下窪 茶業の現状をどのように捉えどのような施策を展開する考えか。
市長 21年度産茶は気象的要因も加わり価格も下落し危機的状況でしたが、今後改植、中刈、農地の流動化、工場の再編などを推進し、また認証制度を奨め販路開拓をし消費拡大対策を図ってきたい。



下窪 一輝 議員

茶業振興対策は
市長／消費拡大を図る

下窪 茶業振興法(仮称)の制定を国などへ働きかける考えはないか。
市長 先日、九州茶主要産地市町村協議会で九州農政局へ要望をした。今後も持続的発展が図られるようあらゆる機関に要望していく。
下窪 緑茶の消費拡大と利活用増進のためお茶とのふれあい事業、食育及びインフルエンザ予防対策の活用などに取り組む考えはないか。
市長 お茶の持つ殺菌効果、機能性などPRに努めたい。
下窪 南九州茶統一ブラ



お茶を買い求める観光客

ンドについて問う。
市長 全国一の茶産地であり付加価値をつけ販売するため、一日も早い統一が必要と考える。茶農家が積極的に推進し、そ

れに応じて行政も支援していきたい。
その他の質問
・22年度県茶業大会の取り組み状況

市民の声を

勝目保育所（仮称）を 「認定こども園」に

市長／現在のところ考えていない

深町 10月12日付けの南日本新聞によると、国は政府方針として幼保一元化を加速するため、認定こども園の認定基準緩和や手続きの簡素化、地方自治体の担当部署の統一促進などを検討する考えであるが、勝目保育所（仮称）を「認定こども園」にする考えはないか。



深町 幸子 議員



平成22年3月末で閉校の保健看護学校

活用案を出すべきではなかったか。
市長 当委員会は初めから廃校ありきの目的で設置された感がある。跡地については県において、もつとも有効な活用策を検討していただくようお願いしている。

新型インフルエンザ の対策は

市長／接種費用の助成を行う

市長 現在のところ保育所としての運営しか考えていないが、今後については、基本原則に立ちながら十分協議してまいりたい。

深町 全国的に新型インフルエンザの感染者が大幅に増加しており、10月2日には本市粟ヶ窪小学校においても発生し、運動会が延期された経緯もあるが、本市における新型インフルエンザ対策を

サツマイモの 振興対策は

市長／関係機関と協議する

柚木 品目別経営安定対策で50アール以下のでん粉甘諸生産者は補助金が打ち切られる。でん粉甘諸に対する今後の見通しはどうなるのか。また、生分解性マルチの普及に關し補助金を出す考えはないか。
市長 政権交代により補

助金も不透明であるが、今後も制度の維持を要請していく。生分解性マルチは、通常のマルチと比較して価格が2倍以上と高い点などの問題があり、今後は課題を整理し、関係機関と協議しながら普及を図っていきたい。

その他の質問

・工事進捗状況の議員への報告

い、感染防止に努めたい。

市長 接種者に対し費用の助成を行う。うがい、手洗いの励行やマスク着用などによる感染防止を防災行政無線などで市民に呼びかけるとともに、新型インフルエンザ予防接種に関する情報提供を適時行



完成間近な「かつめ保育所」

市内幹線道の整備を

市長／早期整備に努めたい



竹迫 毅 議員

竹迫 南九州市活性化のために、市民の一体化が必要で、人、物の交流が大事であると思う。

そこで、旧3町の中心地を結ぶ道路として、時間短縮を図る路線の整備は重要である。南薩縦貫道の整備を踏まえ、川辺宮地内から知覧猿山を経

て、内園上交差点までを整備する考えはないか。また、本市にとって貴重な財産である知覧農業振興センターから峯苦線についても整備する考えはないか。

市長 南薩縦貫道路（知覧道路）は川辺から知覧

まで約6キロメートルが整備区間に指定された

ところである。

質問の路線は旧3町の中心を結ぶ重要な道路で早期整備に努めたい。



整備が待たれる松崎猿山線



山本 森満 議員

山本 硝酸態窒素数値の高い水源地が見られるが水質保全対策を問う。

市長 本市の源泉の中には基準を超す、あるいは上限値に近い水源もある。水質保全対策として水質の変動の推移を注視しながら新たな水源の確保なども検討していきたい。長期的には硝酸態窒素による地下水汚染を防止するための指導を徹底する。

山本 地域水道ビジョン策定終了時期を示せ。

市長 本市はまだ策定していない。水道料金統一予定の平成23年度までには策定したいと考える。

山本 川辺地域に水量が豊富で良質な水源が数カ所あるが、パイプラインを設置し安心安全な水を永続的に市民へ供給する考えはないか。

長期的な水道ビジョンを示せ

市長／平成23年度までに策定したい

市長 川辺地域からのパイプライン給水は現段階で考えていないが、水需要の動向などによっては水源確保の一つとして、将来的には経費や給水区域などを含めた検討も選

択肢と考える。



水量が豊富な川辺高田（鉄山）の平渡瀬の湧水

政権交代による市政への影響は

市長／現段階では不透明である



蔵元 慎一 議員

において具体化されることから、現段階において影響は不透明なものとなっている。事業仕分けの評価結果から本市に影響のある事業としては、

農道整備事業の廃止や循環型社会形成推進交付金（浄化槽設置整備事業など）の予算縮減、地方交付税交付金制度の抜本的見直しなどが報告されている。国の動向に十分注視しながら、来年度予算編成に取り組んでまいりたい。

蔵元 9月の衆議院選挙で民主党中心による政権が誕生したが、昨年より続いている世界同時不況の影響で8兆円とも言われる税収の落ち込みが予想される中、行政刷新会議による事業仕分けが連日報道されている。議論されている事業の中には地方にとって非常に重要な施策も多い。今後国の予算編成の動向で、市の事業に影響が懸念されるものがあるか。また、その対応をどのように考えているか。



合併処理浄化槽の設置工事

地域経済活性化対策は

市長／農業・商工業の振興を図る



塗木 弘幸 議員

塗木 世界不況の中、本市の農業・商工業をはじめあらゆる産業が低迷しているが、経済活性化に向け、今後どのように対応していく考えか。また、22年度予算にどのように反映させるか。
新政権の予算凍結による影響はどの程度か。



低迷している畜産経営

市長 22年度予算については、行財政改革を推進し財源の確保に努め、農業・商工業の振興を図っていく。

市 国の補正予算凍結は、本市の事業執行については対象にならず、着実に進めている。

保健看護学校跡地に南薩地域振興局を

市長／機会あるごとに働きかける

その他の質問
・電子入札の導入効果

2副市長制が必要か

市長／4年間は現体制で



大園 秀己 議員

大園 新市が発足して2年が経過したが、職員の接遇の問題や不適切な事務処理など、2副市長制が活かされていないと考える。行政改革を進める観点からも1人制でいいのではないか。

市長 両人とも行政経験豊かで担当部署で手腕を発揮している。いろいろ不祥事があったことは反

省するが、4年間は現在の体制を維持し、今後も市勢の発展に努力する覚悟である。

給食センター計画の進め方は

市長／議会の意見を尊重しながら進める

大園 知覧地域に14億円の予算をかけて統合学校給食センターの計画があるが、これまで食育を含めた地産地消を進めてきた実績や、働いている職員の処遇など考慮しないといけない。議会特別委

員会の調査結果を踏まえて計画を進める考えはないか。

教育長 旧3町の給食センターは、老朽化が進み衛生管理面など問題がある。文部科学省から合理化通知が出されているが、食育は後退することはない。また、整備計画工程表に従って進めるが、議会の意見を尊重する。

その他の質問

・川辺火葬場改修
・公有財産活用



老朽化が進む給食センター

学校給食センター 建設調査特別委員会を設置

これまでの経過

- 平成21年2月24日 執行部から議会全員協議会で、頼娃・知覧・川辺給食センターの現状と給食センターの方向性について報告。
- 平成21年度当初予算に地質調査・敷地造成測量設計業務委託料560万円を予算計上。
- 平成21年10月30日 議会全員協議会で、学校給食センター建設調査特別委員会の設置について協議。
- 平成21年11月12日 執行部から議会全員協議会で、学校給食センター建設事業計画について説明。
- 平成21年12月22日 議会で学校給食センター建設調査特別委員会を設置。
- 平成21年12月28日 第2回特別委員会において、3給食センターを視察。
- 平成22年1月13日 第3回特別委員会において、志布志市、鹿屋市の給食センター視察。
- 平成22年1月20日 第4回特別委員会において、執行部から学校給食センター建設計画などについて説明。
- 平成22年2月9日 第5回特別委員会予定。

委員会設置に至った理由

- 地質調査結果報告が示されていない。
- 既存の施設を改造・改修などした場合の経費が示されていない。
- 現行雇用者の身分保障はどのようなのか示されていない。
- 地産地消の問題はどのようにするのか示されていない。

追跡

あの質問・提言は どうなった?!



源川地区簡易水道の整備

質問

加治佐 民生 議員
平成20年6月議会

水道の未普及地の早期整備を!

市長

総合計画に位置付けて事業の推進に努める。

平成20年度頼娃ヲヤシ平地区簡易水道完成
受益戸数 118戸

平成21年度頼娃源川地区簡易水道完成
受益戸数 15戸

質問

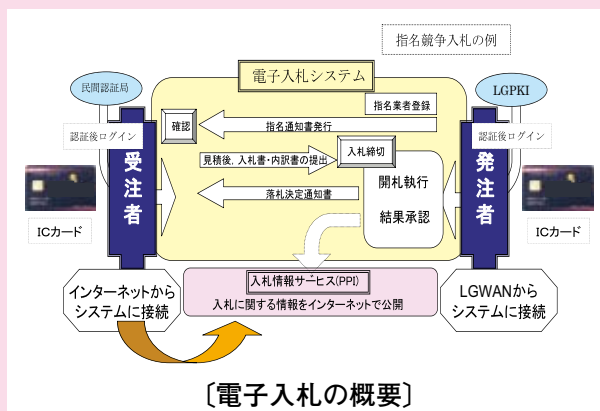
深町 幸子 議員
平成21年3月議会

電子入札を導入する考えは!

市長

平成21年度上半期に導入検討会及び職員研修とシステムの検証並びに導入スケジュールを策定する。

平成21年10月1日より電子入札システムを一部運用開始



議会を傍聴してみませんか!
3月定例議会は**2月23日**開会予定
※ 手続き簡単 本館2階で住所・氏名などを書くだけ ※

言提せか活

常任委員会が所管する事務について、議会閉会中に調査を行いました。
今回は、市有財産の管理状況や社会体育施設の利用状況、茶業経営の現状と対策について調査し、当局に提言をしました。

市有財産活用等検討委員会 は、外部による検討も！

総務常任委員会

総務常任委員会は、公有財産の状況、未利用財産の活用及び登記の状況など公有財産の管理状況について調査しました。

施設について検討した結果、7施設が継続保有貸付、19施設が売却処分、2施設が公共的団体などの活用に向性を決定している。

20年度末公有財産状況

(単位：㎡)

(千㎡未満端数処理)

土地 1530万3千

(行政 476万9千)

(普通 1053万4千)

建物 26万

(行政 24万1千)

(普通 1万9千)

行政財産の使用料や賃付料は、旧3町で統一されていないが、今年度中に見直しを行ない統一を図ることである。

未利用財産の利活用については、「市有財産活用等検討委員会」で、28

次に、登記の状況について、20年度末の未登記筆数は、3177筆で税関係について確認したところ、非課税措置されている土地は2853筆、残り324筆は処理に問題が残されている。今後は、未登記の非課税措置されていない土地の固定資産税については、現地確認と測量を実施して境界確定をしていくこととである。

提 言

(1) 行政財産は、事業目的に即した有効利用の早期実現と、普通財産にあつては十分精査し、将来的に必要な財

産は民間などに貸付又は売却処分し財源の確保を図ること。

(2) 未登記の筆数は減少しているが、登記事務の進捗を図るうえで、地

権者などの協力をいただき登記事務を遂行すること。

(3) 「市有財産活用等検討委員会」は、執行部を構成員として設置されているが、様々な視点から総合的に判断する必要があることから、別途外部による委員会を設置すること。



旧中福良幼稚園を現地調査する委員ら

市外団体利用を含め 体育施設の有効利用を！

文教厚生常任委員会

本市の社会体育施設の中で特筆すべき施設であるB&G海洋センター艇庫の平成19年度は収入1700円、支出434万1千円、20年度は収入1万7220円、支出70万5180円と、事業効果が表われていない。施設の老朽化により事故が発生した場合、行政の責任と補償が伴う恐れがある。

平成20年度の社会体育施設の利用状況は18万7368人、学校体育施設開放による利用者は、体育館6万5767人、屋外照明施設の利用者は5869人となっている。

馬事公苑は指定管理者になって、利用者が増え年間行事なども計画されている。



B & G海洋センタープールを現地調査する委員ら

体育館は3地域それぞれ料金が異なっていることから、今後見直しが必要である。知覧平和公園ゲートボール場改修については、芝の目詰まりや段差解消の改修計画が望まれる。

整備計画として、市総合体育館建設事業調査

設計などが盛り込まれていることから、既存の体育施設整備や補修は、優先順位を付けながら見直しをし、計画していくよう意見が出されたところである。

― 提 言 ―

- (1) 体育施設の整備計画が示されているが、施設の多目的利用を十分検討すること。
- (2) B & G海洋センター艇庫は、事業効果が表れていないので、本施設の存続については、十分検討すること。
- (3) 施設の有効活用を考えると、市外の団体などの利用促進を図ることも重要である。知覧平和公園では、多くの県・九州主催のソフトボール大会が開催されており、今後も、積極的に大会などの誘致に取り組み、施設の有効利用を促進すること。

茶業低迷に危機感を持つて 総力支援を！

産業建設常任委員会

産業建設常任

委員会は、本市の基幹作物であるお茶の価格低迷により、茶業経営が厳しい状況下におかれていることから現状と対策について、詳細に調査しました。



樹勢強化のため中刈をした茶園

※本市の現状

・荒茶生産額（20・21年度は4番茶まで）

平成16年度

178億9800万円

平成20年度

129億6200万円

平成21年度

97億3800万円

・茶園面積

3413ヘクタール

（全国茶園面積の7%）

・栽培農家戸数

1120戸

（茶工場数140工場）

※価格低迷の要因

・低温障害による品質低下

・急速な景気低迷

・お茶のペットボトル化によるリーフ茶離れ

※対策

・肥培管理の徹底で良質茶作り

・低温障害対策は中刈・深刈を行い樹勢を強化

・3番茶以降の生産調整

・価格安定基金創設の要請

― 提 言 ―

- ・銘柄表示の推進
- ・お茶を活用した製品開発
- ・消費拡大対策事業の継続
- (1) お茶の価格保証制度を国へ強く要請すること。
- (2) 異常気象に対応できる栽培指導に努めること。
- (3) 認証制度を推進し、茶消費拡大特別対策事業を長期間継続すること。
- (4) 農家へのアンケート調査を継続し、今後の施策に反映させること。
- (5) お茶の健康面における効能の実証を図ること。
- (6) 茶業低迷は本市にとって大きなマイナスであり、危機感をもって総力をあげ、支援策を展開すること。

市の民の声



川辺町 平山
中迎 秀人

市議会への期待

「南九州市議会へ期待すること」というテーマで寄稿を依頼されましたので、かねてから私なりに考えていることを申し述べたいと思います。

南九州市議会議員は、

「地域のため・市民のために頑張る」と、3町合併直後の2年前の市議選に立候補・当選され、常に一生懸命頑張っておられると思いますが、市民には、「その姿」が、いまいち見えにくいようですのであえて提案します。

①「議会日程」を防災行政無線で放送しているが、

「一般質問」については、「議員名と質問事項等」も放送すれば、さらに市民の関心が高まると思われる。

②平日勤務の市民でも議会傍聴をしやすく、親しみやすいものにするために、一般質問は土・日曜日に開催する。

③議会の審議概要などは、「議会だより」で、ある程度分かるが、もっと具体的に深く理解するために、議会会議録を身近な行政嘱託員（自治会長）に配布・備え付けて、誰でも閲覧できるようにする。

④議員個人または共同による「議会報告会」などを開催し、議員と市民との情報交換ができるようにする。

以上のようなことを提案し、市民によりいっそう親しまれ、頼りにされる議会・議員になられるよう期待します。



額娃町 上別府
加治佐 清香

よりいっそうの絆を！

南九州市が誕生して3年目を迎えました。

旧3町で実施されていたスポーツ大会も合併して2年目で全市統一の開催となり他の新市には見られないことと聞きます。

真夏の「ふれあい球技大会」、秋の「市民体育大会」、冬の「校（地）区対抗駅伝競走大会」も盛大に終了しました。

3大会のモットーは、スポーツによる「市民の一体化と健康づくり・まちづくり」と認識しています。

私は勤務の関係で知覧町に5年間、川辺町に7年間お世話になりました。それぞれの大会で久しぶりに多くの知人と逢うことができました。また、会場のあちこちで親交を深めている姿を多く見かけました。

係の人たちはイベントを企画・運営するには万全を期して実施します。そのことがうまくいって元々。少しでもトラブルがあるとチンガラツたたかれることもあります。スタッフの方々のご苦労が伺え、第1回の大会から大成功だったと実感しています。

課題もいくつか見えてきたことでしょう。市民一人ひとりが知恵を出し合い協力しあってよりいっそうの盛大な大会を期待し、市民の絆をさらに深めていきたいものです。



「議会だより」編集委員の紹介

「南九州議会だより」を編集する新しい委員が決まりました。新体制は次のとおりです。

委員長 峯 勝
副委員長 山下 つきみ
委員 満留 秀昭
大 蘭 秀己
加治佐 民生
菊 永 忠行

編集後記

光陰矢の如し、月日の過ぎるのは早いもので、新市発足3年目に入りました。

私たち議会広報編集委員会も新たな委員構成で議会だよりを皆様にお届けすることになりました。

議会だよりは、市民の

皆様と議会をつなぐ大切な役目があります。今後も市民のご意見、ご感想などを積極的に取り入れ分かります紙面づくりに努めてまいりたいと思いますので、皆様の率直なご意見をお聞かせください。

（峯 勝 執筆）